

研究教育業績（過去 5 年間）

I. 研究業績

1. 主な発表論文

[原著論文]

- 1) Yamaji S., Itoga S., Yamashita H., Ikeda M., Arai I., Uzu Y., "Comparative Studies of Botanical Pictures on Compartment Ceiling in "Uzu-yakushido" Hall," *Ann. Rep. of NPU*, **4**, in print (2018).
- 2) 新井一郎, 碓谷奈緒美, 山路誠一, 津谷喜一郎, 漢方論文における「漢方処方名ローマ字表記法」(2005) 処方名の採用状況, 日本薬科大学教育紀要, **3**, 42-47 (2017).
- 3) 山路誠一, 新井一郎, 酒井英二, 寺林進, 川原信夫, 飯田修, 荒金眞佐子, 中村耕, 合田幸広, 日本薬局方『オンジ』の比較組織形態学的研究, 日本薬科大学教育紀要, **2**, 64-68 (2016).
- 4) 原田亜紀子, 杉原数美, 渡辺容子, 山路誠一, 北村繁幸, 太田 茂, 62 種生薬エキスのアシルハイドロカーボン受容体に対するリガンド活性及びシトクロム P450 活性に及ぼす影響, 薬学雑誌 **135**(10), 1185-1196 (2015).
- 5) 若菜大悟, 丸山卓郎, 鎌倉浩之, 杉村康司, 飯田修, 金井哲朗, 山路誠一, 木村孟淳, 合田幸広, DNA 配列解析及び形態観察に基づく *Sida* 属植物製品の実態調査, 日食化誌 **19**(2), 111-118 (2012)

[著書]

- 1) 木村孟淳, 酒井英二, 牧野利明, 山路誠一 (分担), 新訂生薬学 改訂第 8 版増補, 南江堂 (2018)
- 2) 丁宗鐵編著, 山路誠一 (分担), スパイス百科, 丸善 (2018) .
- 3) 木村孟淳, 酒井英二, 牧野利明, 山路誠一 (分担), 新訂生薬学 改訂第 8 版, 南江堂 (2017) .
- 4) 水野瑞夫監修, 木村孟淳, 田中俊弘, 酒井英二, 山路誠一編集, 『薬用植物学』(改訂第 7 版), 南江堂 (2013).

[その他]

- 1) 糸数七重(監修), 山路誠一(監修), 週刊朝日 MOOK 『気と血のめぐり漢方 2018』漢方処方事典, 漢方生薬事典(2018).
- 2) 糸数七重(監修), 山路誠一(監修), 週刊朝日 MOOK 『正しく付き合う漢方 2017』漢方処方事典, 漢方生薬事典 (2017).

2. 主な学会発表

[国際学会]

- 1) 山路誠一 :日本生薬学与漢方教育的現状和展望 :第二届岭南中医药高峰论坛(広州中医薬大学), 2013 年 12 月, 従化温泉賓館, 従化市(広東省), 中華人民共和国.

[国内学会]

- 1) 山路誠一, 糸賀翔太, 山下 裕, 池田満雄, 宇津善博, 宇津薬師堂・格天井彩色画に描かれた植物に関する研究, 日本薬学会 138 年会, 3 月, 金沢 (2018).
- 2) 大野 眞, 山路誠一, 石内悠美子, 新井一郎, 寺林 進, 酒井英二, 三宅克典, 合田幸広, 川原信夫, 飯田 修, 日本薬局方『ボクソク』の生薬学的研究(第 5 報), 日本薬学会 138 年会, 3 月, 金沢 (2018).
- 3) 石内悠美子, 山路誠一, 大野 眞, 寺林 進, 酒井英二, 合田幸広, 川原信夫, 飯田 修, 日本薬局方『ボクソク』の生薬学的研究(第 6 報), 日本薬学会 138 年会, 3 月, 金沢 (2018).

- 4) 竹内華織, 山路誠一, 小松かつ子, 本草文献に見られる『何首烏』の記載と基源について, 日本薬史学会 2017 年会埼玉, 10 月, さいたまキャンパス (2018).
- 5) 糸賀翔太, 山路誠一, 山下 裕, 池田満雄, 宇津善博, 宇津薬師堂・格天井彩色画に描かれた植物に関する研究, 日本薬史学会 2017 年会埼玉, 10 月, さいたまキャンパス (2017).
- 6) 吉田和範, 篠田量太, 赤坂優駿, 山路誠一, 佐藤直子, 内山奈穂子, 丸山卓郎, 袴塚高志:『白首烏』の生薬学的研究, 日本薬学会第 137 年会, 3 月, 仙台 (2017).
- 7) 赤坂優駿, 篠田量太, 吉田和範, 山路誠一, 佐藤直子, 内山奈穂子, 丸山卓郎, 袴塚高志:『白首烏』の生薬学的研究(2)～『何首烏との比較について』～, 日本薬学会第 137 年会, 3 月, 仙台 (2017).
- 8) 篠田量太, 山路誠一, 吉田和範, 赤坂優駿, 新井一郎, 寺林進, 酒井英二, 阿部尚人, 三宅克典, 合田幸広, 川原信夫, 飯田 修, 日本薬局方『ボクソク』の生薬学的研究 (第 4 報), 日本薬学会第 137 年会, 3 月, 仙台 (2017).
- 9) 山路誠一, 新井一郎 “生薬学教育における発表形式授業の導入とその成果について～6 年間の実施と定期試験成績結果から見えたもの・こと”P-097, 第 1 回日本薬学教育学会), 8 月, 京都 (2016).
- 10) 山中沙綾, 菊池真衣, 横田直之, 山路誠一, 寺林進, 酒井英二, 合田幸広, 川原信夫, 飯田 修, 薬用植物総合データベース構築のための基盤整備に関する研究～市場流通生薬の組織形態 (8) ・ボクソク, 日本薬学会第 136 年会, 3 月, 横浜 (2016).
- 11) 横田直之, 山中沙綾, 菊池真衣, 山路誠一, 小松かつ子: タンジン (丹参) の生薬学的研究, 日本薬学会第 136 年会, 3 月, 横浜 (2016).
- 12) 山路誠一, 菊池真衣, 寺林進, 酒井英二, 合田幸広, 川原信夫, 飯田 修: 薬用植物総合データベース構築のための基盤整備に関する研究～市場流通生薬の組織形態 (7)ボクソク, 日本生薬学会第 62 回年会, 9 月, 岐阜 (2015).
- 13) 山路誠一, 保本裕子, 新井一郎, 伏見裕利, 小松かつ子, 本草文献に見られる生薬の産地と性状の記載 (2) ～『防風』について, 第 32 回和漢医薬学会学術大会, 8 月, 富山 (2015).
- 14) 小林みな, 水上昭吾, 山路誠一, 寺林 進, 酒井英二, 合田幸広, 飯田 修, 川原信夫: 薬用植物総合データベース構築のための基盤整備に関する研究～市場流通生薬の組織形態 (6)・ボクソク. 日本薬学会第 135 年会, 3 月, 神戸 (2015).
- 15) 水上昭吾, 小林みな, 山路誠一, 寺林 進, 酒井英二, 合田幸広, 飯田 修, 川原信夫: 薬用植物総合データベース構築のための基盤整備に関する研究～市場流通生薬の組織形態 (5)・ボウフウ. 日本薬学会第 135 年会, 3 月, 神戸 (2015).
- 16) 榎 真由, 山路誠一, 伏谷眞二, 若菜大悟, 丸山卓郎, 鎌倉浩之, 合田幸広, 杉村康司, 飯田 修, 李 昭瑩: Sida 属植物の組織形態学的研究 (6). 日本薬学会第 135 年会, 3 月, 神戸 (2015).
- 17) 浅沼 舞, 中西正倫, 山路誠一, 伏見裕利, 小松かつ子: 本草文献に見られる『紫参』の性状記載について. 第 31 回和漢医薬学会学術大会, 8 月, 千葉 (2014).
- 18) 浅沼 舞, 山路誠一, 伏谷眞二, 若菜大悟, 丸山卓郎, 鎌倉浩之, 合田幸広, 杉村康司, 飯田 修, 李 昭瑩 “Sida 属植物の組織形態学的研究(5)” 日本薬学会第 134 年会, 3 月, 熊本 (2014).
- 19) 上野 歩, 白石加奈子, 永瀬敬子, 山路誠一, 寺林 進, 酒井英二, 合田幸広, 川原信夫, “薬用植物総合情報データベース構築のための基盤整備に関する研究～市場流通生薬の組織形態(3)・タクシャ～” 日本薬学会第 134 年会, 3 月, 熊本 (2014).
- 20) 永瀬敬子, 浅沼 舞, 山路誠一, 寺林 進, 酒井英二, 合田幸広, 川原信夫, “薬用植物総合情報データベース構築のための基盤整備に関する研究～市場流通生薬の組織形態(4)・オンジ～” 日本薬学会第 134 年会, 3 月, 熊本 (2014).

- 21) 白石加奈子, 上野 歩, 永瀬敬子, 山路誠一, 渡邊高志, 杉村康司, 川原信夫, 田中信幸, 小山鐵夫, Patterson TOFU, Fred PITISOPA, “ソロモン諸島における有用植物資源のインベントリー調査(9) ソロモン諸島産カギカズラ植物(*Uncaria*)の組織形態に関する研究”日本薬学会第 134 年会, 3 月, 熊本 (2014).

3. その他特筆すべき研究業績

- 1) 山路誠一 (研究協力者), 医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業「無承認無許可医薬品の調査・分析および量的概念を含む専ら医薬品の規制に関する研究」(H27-医薬-一般-004), 研究代表者・袴塚高志, 300 千円 (2016).
- 2) 山路誠一 (研究協力者): 創薬基盤推進研究事業「薬用植物栽培並びに関連産業振興を指向した薬用植物総合情報データベース拡充と情報整備に関する研究」(H25-創薬総合-指定-006), 研究代表者・川原信夫, 450 千円 (2015).
- 3) 山路誠一 (研究協力者): 創薬基盤推進研究事業「薬用植物栽培並びに関連産業振興を指向した薬用植物総合情報データベース拡充と情報整備に関する研究」(H25-創薬総合-指定-006), 研究代表者・川原信夫, 500 千円 (2014).
- 4) 山路誠一 (研究協力者): 医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス総合研究事業「無承認無許可医薬品の調査と分析, 有害性評価に関する研究」(H24-医薬-一般-004), 研究代表者・袴塚高志, 500 千円 (2014).
- 5) 研究代表者・川原信夫、分担研究者・酒井英二、研究協力者・山路誠一: 創薬基盤推進研究事業「薬用植物栽培並びに関連産業振興を指向した薬用植物総合情報データベース拡充と情報整備に関する研究」(H25-創薬総合-指定-006) 500 千円 (2013).
- 6) 研究代表者・袴塚高志、分担研究者: 丸山卓郎、研究協力者・山路誠一: 医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス総合研究事業「無承認無許可医薬品の調査と分析, 有害性評価に関する研究」(H24-医薬-一般-004) 500 千円 (2013).

II. 教育業績

1. 担当授業科目

- 1) 2017 年度 生薬学(2 年), 生薬・漢方実習(2 年), 本草学(5 年), 基礎薬学実習(1 年, 3 コマ).
- 2) 2016 年度 生薬学(2 年), 生薬・漢方実習(2 年), 医療系実習(3 年), 本草学(5 年), 基礎科学実習(1 年, 3 コマ).
- 3) 2015 年度 生薬学(2 年), 伝統医薬学(3 年), 医療系実習(3 年), 本草学(5 年).
- 4) 2014 年度 生薬学(2 年), 伝統医薬学(3 年), 医療系実習(3 年), 生薬系実習(2 年), 本草学(5 年), 薬科学実習(1 年, 2 コマ).
- 5) 2013 年度 生薬学 I (2 年), 生薬学 II (2 年), 医療系実習(3 年), 基礎薬学実習(1 年, 16 コマ).

2. その他特筆すべき教育業績

- 1) 植物観察会講師, 日本生薬学会主催, 日本薬剤師会集合研修, 筑波山, 2014 年 6 月.